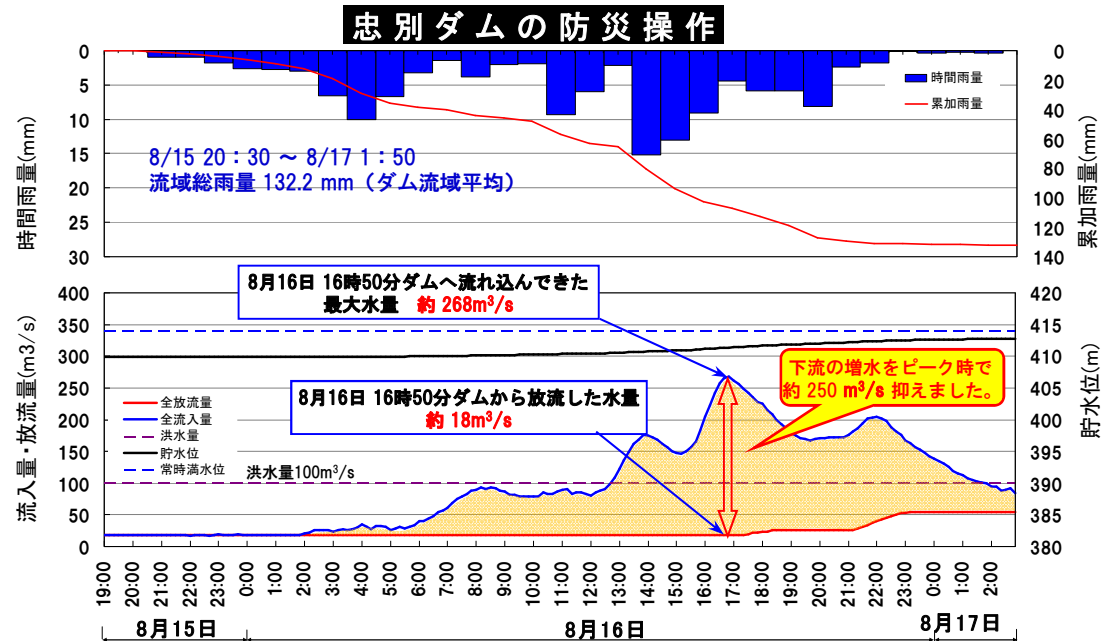
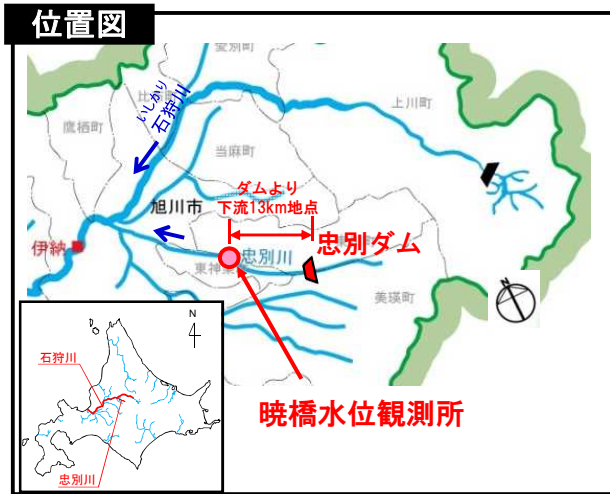


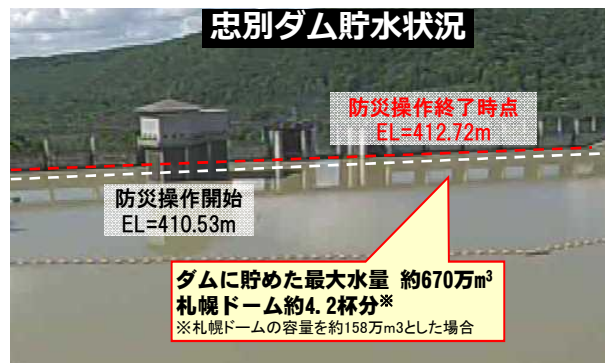
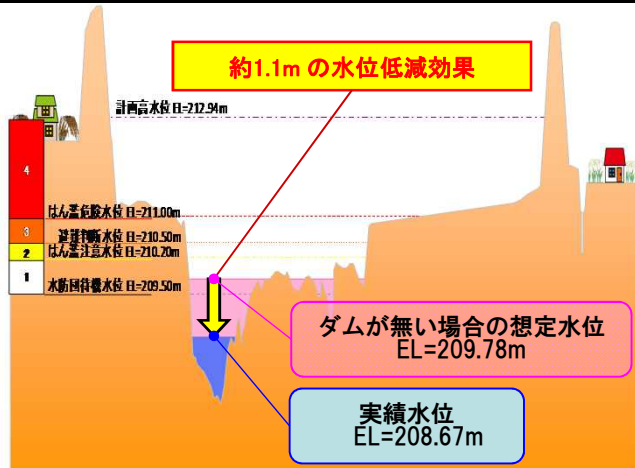
ダム整備が効果を発揮（北海道 忠別ダム）（国管理）

- 令和4年8月15日から17日にかけて、前線を伴った低気圧による大雨により忠別ダムでは洪水量を超える流入量を観測し、8月16日には最大で約268m³/sの流入量を記録しました。
- 忠別ダムの防災操作によって、ピーク時で約250m³/sの水量を抑え、下流河川の水位低減を図り、下流の東川町(暁橋水位観測所)では、水位を約1.1m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていないならば、水防団待機水位*を上回る出水となったことが想定されます。

※水防団待機水位：水防団が水防活動の準備を始める目安となる水位



暁橋水位観測所地点における水位低減効果



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。